

令和5年度 事後評価シート

施策	13 全ての子どもたちの学びの保障
K G I	①1,000人当たりの不登校児童生徒数 小・中学校 【基準値】 22.0人（令和3年）【目標値】 20人 ②1,000人当たりの不登校児童生徒数 高校 【基準値】 16.5人（令和3年）【目標値】 13人

【細施策シート】

細 施 策		13-2 義務教育における不登校対策	担当部局	教育委員会				
K G I		不登校から、登校できるようになった児童生徒の割合	施策KGI	①				
K G I	KGI種別	上がると良い指標	R 5 年 度	R 6 年 度	R 7 年 度	R 8 年 度		
	時点・期間	R 3 年度	時点・期間 R 4年度	時点・期間 R 5年度	時点・期間 R 6年度	時点・期間 R 7年度		
	現状値	27.1 %	目標値	27.2 %	目標値	27.2 %	目標値	27.2 %
			実績値	23.1 %	実績値	%	実績値	%
			達成率	84.93 %	達成率	%	達成率	%
判定			未達成	判定		判定		
5 年 度	要因分析 【必須】	5年度のKGIの実績値については、10月頃に公表される調査結果で判明するが、不登校児童生徒数については、全国と同様に4年度まで10年連続で増加しており、今後も増えていくことが予想される。目標値の達成・未達成に関わらず、個々の児童生徒に応じた必要な支援や、教育相談体制の充実を図る必要がある。						
	改善の方向性 【必須】	4年度には全国の小・中・高等学校の不登校の児童生徒が急増し約30万人になるなど、不登校の解消のみならず、子供たち一人一人の人格の形成や社会的自立を目指すための、学校や学びの在り方が問われている。全国と同様に本県においても不登校児童生徒は増加傾向にあることを踏まえ、個々の児童生徒の状況に応じた必要な支援や、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、関係機関との連携等、今後も教育相談体制の充実を図るなど、効果的な事業実施に努める。						